竹林化学工業株式会社

安全データシート

作 成　：2012 年 4 月 11 日
改訂①：2014 年 12 月 16 日

１．化学品及び会社情報

製品名	：タケトップＰシルバー
会社名	：竹林化学工業株式会社
住所	：大阪府東大阪市渋川町３丁目１番４３号
担当部門	：品質管理部（担当者　大江吉郎）
電話番号	：０６－６７２１－６１６５
FAX 番号	：０６－６７２０－７３０８
緊急連絡先	：０６－６７２１－６１６５
奨励用途と使用上の制限	：工業用（防水材　等）
整理番号	：

２．危険有害性の要約

製品のＧＨＳ分類、ラベルの要素

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性：区分３

特定標的臓器毒性 - 反復暴露：区分１

環境有害性

水生毒性 - 急性：区分２

水生毒性 - 慢性：区分２

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語	：危険
危険有害性情報	軽度の皮膚刺激
	長期または反復暴露による肺の障害
	長期または反復暴露による肝臓、精巣の障害のおそれ
	水生生物に毒性
	長期的影響により水生生物に毒性
注意書き	
予防	粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
	取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
	この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
	（適切な処置を講じたとき以外は）環境への放出を避ける。
対応	気分が悪い時は、医師の診断／手当を受ける。
	漏出物を回収する。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受ける。
廃棄　　内容物／容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

3．組成、成分情報

単一製品・混合物の区分　：混合物質
成分及び含有量　：①アルミニウム　１０％未満
②ミネラルスピリット　２．０％未満
③1,3,5-トリメチルベンゼン　０．１％
④ジプロピレングリコールモノメチルエーテル　２．０％未満
⑤1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール　１．０％未満
⑥ポリオキシエチレンドデシルエーテル　０．７％
CAS　No.　：①7429-90-5
②8052-41-3
③108-67-8
④34590-94-8
⑤13429-07-7
⑥9002-92-0
化管（PRTR）法政令番号　：　③1-297
⑥1-407
注記：これらの値は、製品規格値ではありません。
危険有害成分
労働安全衛生法「通知すべき有害物」に該当する成分
：ミネラルスピリット

4．応急措置

一般的な措置　：気分が悪い時は、医師の診断／手当を受ける。
吸入した場合　：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合　：付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
溶剤、シンナーを使用してはならない。
多量の水と石鹸で洗う。
直ちに医師に連絡する。
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断／手当を受ける。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受ける。
目に入った場合　：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。
眼の中にすべて水が行き届くように洗浄する。
目の刺激が続く場合：医師の診断／手当を受ける。
飲み込んだ場合　：嘔吐物を飲み込ませてはならない。
医師の指示の無い場合は、吐かせてはならない。
負傷者を安静にし、直ちに医師の診察を受ける。
応急措置をする者の保護　：救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
適切な換気を確保する。
緊急の特別処置などを講ずる。

５．火災時の措置
適切な消火剤　　：この製品自体は、燃焼しない。
特有の消火方法　　：周辺火災に対して、消化活動を行うこと。

６．漏出時の措置
人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置
　　：作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
　　周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する予防措置　　：河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和　ならびに　封じ込めおよび浄化の方法と機材
　　：漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
　　付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
二次災害の防止策　　：漏出物を回収する。

７．取扱いおよび保管上の注意
取扱い
　技術的対策（取扱者の暴露防止）
　　：粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
　　必要な個人用保護具を使用する。
安全取扱い注意事項　　：使用前に取扱説明書を入手する。
　　屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
　　保護手袋を着用する。
配合禁忌等、安全な保管条件
　適切な保管条件　　：施錠して保管する。
　　換気のよいところで保管する。容器を密閉する。
　避けるべき保管条件　　：日光から遮断する。
　　日光の直射を避ける。

８．暴露防止及び保護措置
職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標
許容濃度
　(1,3,5-トリメチルベンゼン)
　　：日本産衛学会(1984)：(25ppm；120mg／m3)
　(アルミニウム)　　：[ACGIH(2007)]ＴＷＡ：(1mg／m3(R))（じん肺症、下気道刺激、神経毒)
　(ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)
　　：[ACGIH(1979)]ＴＷＡ：(100ppm)　ＳＴＥＬ：150ppm
　　(皮膚)（眼および上気道刺激；中枢神経系損傷)
　(ミネラルスピリット)：[ACGIH(1980)]ＴＷＡ：(100ppm)
　　(眼、皮膚および腎臓障害、吐気、中枢神経系損傷)
保護具
　呼吸器の保護具　　：呼吸用保護具を着用する。
　手の保護具　　：保護手袋を着用する。
　目の保護具　　：保護眼鏡／顔面保護具を着用すること。
　皮膚及び身体の保護具　　：保護衣を着用する。

衛生対策　：取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
汚染された作業衣を作業場から出してはならない。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	：液体
色	：銀色
臭い	：僅か芳香臭。
ｐＨ	：6.0～7.0
比重/密度	：0.9 - 1.2

１０．安定性及び反応性

安定性　：安定である。危険な分解反応、重合暴走反応は生じない。

１１．有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

（ポリオキシエチレンドデシルエーテル）

：rat LD50=544mg／kg（alkyl C No.=14 – 15、EO adduct mole No.=11）
9,800mg／kg（alkyl C No.=10,12,14、EO adduct mole No.=2 - 7）

経皮毒性成分データ

（ポリオキシエチレンドデシルエーテル）

：rabbit LD50=2,000mg／kg（アルキル基の炭素数 12 – 13、エチレンオキシドの付加モル数 6）
5,000mg／kg（アルキル基の炭素数 14 – 15、エチレンオキシドの付加モル数 13）
（CERI・NITE 有害性評価書　No.89 (2005)）

吸入毒性成分データ

（ポリオキシエチレンドデシルエーテル）

：rat LC50=1.5mg-dust／L／4hr（alkyl C No.=12 - 13、EO adduct mole No.=6）

局所効果

皮膚腐食性／刺激性成分データ

（ジプロピレングリコールモノメチルエーテル）

：ラビット　500mg　open；MILD

眼に対する重篤は損傷・刺激性

眼損傷性／刺激性成分データ

（ジプロピレングリコールモノメチルエーテル）

：ラビット　2.38mg　；MILD

発がん性

（アルミニウム）　：ACGIH-A4(1995)；ヒト発がん性因子として分類できない。
（ミネラルスピリット）：EU-発がん性カテゴリ 2；ヒト発がん性とみなされる。

１２．環境影響情報

環境有害性

水生毒性　　：水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

水生毒性

（ミネラルスピリット）：甲殻類（オオミジンコ）LC50 = 0.42-2.3mg／L／48hr (EHC, 1996)

(ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)
：甲殻類（オオミジンコ）LC50 = 1919mg／L／48hr (SIDS, 2004)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)
：甲殻類（オオミジンコ）LC50 = 6mg／L／48hr (環境省, 2002)

(1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール)
：甲殻類（オオミジンコ）LC50 = 1919mg／L／48hr (SIDS, 2004)

水溶解度

（ミネラルスピリット）：溶けない(ICSC, 2004)

(アルミニウム)　　：溶けない、反応する(ICSC, 2000)

(ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)
：混和(SIDS, 2004)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)
：非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール)
：混和(SIDS, 2004)

残留性・分解性

（ミネラルスピリット）：BOD による分解性　12 – 13% (EHC187, 1996)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)
：BOD による分解度　0%（既存化学物質安全性点検データ）

生体蓄積性

（ミネラルスピリット）：log Pow=3.16 through 7.06 (ICSC, 2004)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)
：log Pow=3.42 (ICSC, 2002)；BCF = 342 (Check & Review, Japan)

他の有害環境

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　　：（適切な処置を講じたとき以外は）環境への放出を避ける。
内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄する。

１４．輸送上の注意

国連番号、国連分類　　：国連番号に該当しない。

海洋汚染防止法　　：有害液体物質（X 類）：1,3,5-トリメチルベンゼン
有害液体物質（Z 類）：ジプロピレングリコールモノメチルエーテル
危険物：酢酸ビニルモノマー

１５．適用法令

毒物および劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

名称通知危険／有害物（第 57 条の 2、令第 18 条の 2 別表 9）
：ミネラルスピリット
化学物質管理促進（ＰＲＴＲ）法に該当しない。
消防法に該当しない。

１６．その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 16th edit. UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (reg. (EC) No.1272/2008)
2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2009 TLVs and BEIs.（ACGIH）
http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html
JIS Z 7250 (2005 年)「化学物質等安全データシート」

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。